

伊豆市の概要

自然・歴史・文化が薫る 誇りと活力に満ちた

クロスロード
「伊豆半島の新基軸」・伊豆市

～いつまでも住み続けたい 次世代に笑顔をつなぐ礎づくり～



2024年度版

静岡県伊豆市議会

1. 市の沿革

伊 豆 市	平成 16 年 4 月 1 日合併（人口 37,869 人）
修 善 寺 町	大正 13 年 8 月 31 日町制施行により、修善寺村が修善寺町（人口 5,885 人）となる。昭和 31 年下狩野村と合併（人口 11,641 人）、昭和 34 年北狩野村と合併（人口 15,609 人）。平成 16 年 3 月 31 日閉町。
土 肥 町	昭和 12 年 4 月 1 日町制施行により、土肥村が土肥町（人口 6,766 人）となる。昭和 31 年西豆村と合併（人口 10,118 人）。平成 16 年 3 月 31 日閉町。
天城湯ヶ島町	昭和 35 年 11 月 1 日町制施行により、上狩野村・中狩野村が合併し、天城湯ヶ島町（人口 7,787 人）となる。平成 16 年 3 月 31 日閉町。
中 伊 豆 町	昭和 33 年 1 月 1 日町制施行により、上大見村・中大見村・下大見村が合併し中伊豆町（人口 8,252 人）となる。平成 16 年 3 月 31 日閉町。

2. 伊豆市の概況

①面積

363.97K m² （南北 約 20km、東西 約 25km ）
 森林 82.7%、農地 4.6%、宅地 2.7%、その他 10.0%

②位置・自然

伊豆半島の中央部に位置し、豊かな自然環境に恵まれています。南側は天城山系の山並みに囲まれ、西側では青く澄んだ駿河湾に面しています。中央には天城山から発する狩野川が流れ、北部はその沖積層により形成された田方平野となって開けています。高低差も日本一深い湾・駿河湾の海底－2,500m から天城山山頂の標高 1,407m までと幅広く、海の底から山の上までの間に豊かな生態系が育まれています。

③気候

太平洋側の気候の影響から、年間を通して温暖な気候に恵まれています。年間平均気温は 15℃で、山間部などでは降水量の多いところもありますが、全体としては穏やかな気候です。

④名品・特産

わさび 椎茸 白びわ 黒米 ヤーコン 梅 など

※ H30.3.9「静岡水わさびの伝統栽培」が世界農業遺産に認定

⑤観光名所

独鈷の湯、修禪寺、虹の郷、恋人岬、土肥金山、浄蓮の滝、天城山隧道、踊子歩道
天城連山ハイキングコース、滑沢溪谷、わさび沢（世界農業遺産）、萬城の滝、旭滝、ペロ
ドルーム（日本サイクルスポーツセンター）など

※ H30.4 伊豆半島ジオパークがユネスコ世界ジオパークに認定

⑥人口・世帯数（外国人登録を含む）

人口 28,012人 世帯数 13,405世帯 （令和6年4月1日現在）

⑦産業別就業人口

（令和2年国勢調査）

区 分	人口 (人)	率 (%)
総 数	13,809	100.0
第一次産業	1,006	7.29
農 業	913	6.61
林 業	67	0.49
漁 業	26	0.19
第二次産業	3,008	21.78
鉱 業	15	0.11
建設業	1,106	8.01
製造業	1,887	13.67
第三次産業	9,623	69.69
電気・ガス・熱供給・水道業	47	0.34
情報通信業	148	1.07
運輸・郵便業	526	3.81
卸売・小売業	1,764	12.77
金融・保険業	165	1.19
不動産・物品賃貸業	126	0.91
学術研究業	233	1.69
宿泊・飲食サービス業	1,902	13.77
生活関連サービス業・娯楽業	742	5.37
教育・学習支援業	512	3.71
医療・福祉	1,962	14.21
複合サービス業	182	1.32
サービス業	901	6.52
公 務	413	2.99
分 類 不 能	172	1.25

⑧観光客数

（観光商工課独自集計 単位：人）

名称 年度	観光レクリエ ーション客数	宿 泊 客 数	観光交流客数
R2	1,637,939	433,929	2,071,868
R3	1,804,611	574,314	2,378,925
R4	2,244,687	733,370	2,978,057
R5	2,744,500	761,849	3,506,349



富士山の眺望地として有名な達磨山からのパノラマ

3. 伊豆市議会の概要

(1) 議員定数及び現員

条例定数 14人 (令和6年11月1日から)

(2) 議員定数の変遷

年 月 日	定 数	内 容
平成 16. 4. 1	(22人)	4町合併による市制施行 議員数は、在任特例を適用し56人
平成 16. 10. 24	26人	第1回市議会議員選挙 任期 H16. 11. 1~H20. 10. 31 (初めての一般選挙のみ、定数を26人とした)
平成 19. 9. 28		議員定数条例の制定 (次の一般選挙から、定数を20人とする)
平成 20. 4. 20		市議会議員補欠選挙により4人当選
平成 20. 10. 19	20人	第2回市議会議員選挙 任期 H20. 11. 1~H24. 10. 31
平成 24. 9. 10		議員定数条例の改正 (次の一般選挙から、定数を16人とする)
平成 24. 10. 21	16人	第3回市議会議員選挙 任期 H24. 11. 1~H28. 10. 31
令和 6. 7. 1		議員定数条例の改正 (次の一般選挙から、定数を14人とする)
令和 6. 11. 1	14人	第6回市議会議員選挙 任期 R6. 11. 1~R10. 10. 31

(3) 会派別議員数 (令和6年11月1日現在)

会派名 \ 政党	自由民主党	公明党	日本共産党	無所属	計
I Z U 未来	5			5	10
無 会 派		1	1	2	4
計	5	1	1	7	14

(4) 年齢別・当選回数別議員数 (町村議会議員歴を含む) (令和6年11月1日改選)

年 齢 \ 当選回数	40~49 歳	50~59 歳	60~69 歳	70~79 歳	80 歳 以上	計
1 回			1			1
2 回			2	3		5
3 回	1		1	1		3
4 回			2	1		3
7 回					1	1
9 回				1		1
計	1	0	6	6	1	14

平均年齢 68.4 歳 最年長 80 歳 最年少 48 歳 (令和6年11月1日現在)

(5) 議長等の交替期間

議 長 2 年（議会運営規程）

副 議 長 2 年（ “ ）

(6) 常任委員会（任期2年）

名 称	定数	所 管
総務経済委員会	7 人	総合政策部、総務部、産業部、建設部、危機管理課、会計課、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、農業委員会及び固定資産評価審査委員会の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項
教育厚生委員会	7 人	市民部、健康福祉部 及び 教育部

(7) 議会運営委員会（任期2年）

委 員 数	7 人
選 出 方 法	副議長及び各常任委員長と、委員より2名を選出

(8) 協議等の場

名 称	定数	規程・任期・その他
全員協議会	14 人	市政及び議会の重要事項に関する協議又は調整を行う
議会広報委員会	6 人	常任委員会から3人選出、伊豆市議会広報委員会規程・1年

(9) 一般質問

制 限 / 発言順	人数制限なし／発言は受付順／代表質問（所信表明・施政方針）
通 告 期 限	招集告示日の翌日正午まで
発 言 時 間	1 人（会派ごと）30分以内（再質問を含む）
質 問 方 式	1 回目は登壇し一括質問又は、1 問目のみ質問する選択制、再質問以降は、自席にて一問一答とする（回数制限はなし）

(10) 質疑

通 告 期 限	発言しようとする日の前々日の正午まで
質 疑 方 法	1 回目は登壇し、一括質疑 2 回以降は、自席にて行う
発 言 回 数	3 回まで 予算関連は、2 回目から款ごとに残り 2 回ずつ可能

(11) 議員賛否

議員個々の賛否を「議会だより」やホームページで公開するほか、本会議をインターネットによりライブ配信するなど、開かれた議会を目指す。

(12) 請願・陳情の取り扱い

取 扱 及 び 審 査	・ 請願は、所管委員会に付託し、本会議最終日に採決 ・ 陳情等は、議長に直接持参したものについて議会運営委員会に諮り、市政において主要な事項と認めたものについては、その審査を所管委員会に要請する ・ 上記のうち委員会付託しないものは、写しを全議員に配布する ・ 郵送等によるものは、掲示するに止める
-------------	---

(13) 議会だより

名 称	伊豆市議会だより
発 行 回 数	年4回（必要に応じて臨時号も発行）
発行部数／配付	1回につき11,500部 / 全世帯
規 格	A4判（12ページが基本）、2色刷り（表紙カラー）

(14) 議員及び市長等の報酬

職名	報酬月額	期末手当
議 長	360,000円	6月 100分の170 12月 100分の185 加算率 15%
副 議 長	320,000円	
委 員 長	310,000円	
議 員	300,000円	
市 長	770,000円	
副 市 長	650,000円	
教 育 長	570,000円	

(15) 議員費用弁償

実費（日当はH30.4.1に廃止）	宿泊費（甲）	宿泊費（乙）
公共交通機関費用、自家用車37円/キロ	13,100円	11,800円

(16) 政務活動費

規 約	伊豆市議会政務活動費の交付に関する条例（平成28年4月1日施行）
交 付 額	1人当たり月額 15,000円
交付対象	会派及び会派に所属しない議員
交付時期等	前期（4月から10月まで）と後期（11月から3月まで）

(17) 議会基本条例

議 決 日	平成 28 年 3 月 11 日
施 行 日	平成 28 年 4 月 1 日
主な内容	最高規範性、議会報告会の開催、請願・陳情者の意見陳述、一問一答方式、反問権、文書質問、議員間討議

(18) 議会議員政治倫理条例（平成 25 年伊豆市条例第 15 号）

主な内容 8つの政治倫理基準を定め、市民又は議員から議員 4 人以上の紹介により、審査請求ができる。1 月以内に議員 10 人以内による審査会を設置し、政治倫理基準に違反する場合は、警告から辞職勧告までの措置を決定する。これらの内容は、議会報やホームページで公表する。

(19) 議会モニター制度（設 置 令和 4 年 2 月～）

任 期	1 年（応募資格 選挙権がある人又は議会に関心のある人）
定 数	10 名以内（現在 5 名）
主な活動	議会モニター会議（年 3 回程度）、議会運営・議会広報に対する意見提出、提出意見や回答内容の公表による情報共有等

(20) 議会事務局職員

局 長（1） 一 次 長（1） 総務スタッフ（2）・会計年度職員（1）
※監査委員事務局兼務

(21) 伊豆市の県内位置図



4. 令和6年度当初予算

一般会計予算

(歳入)

(単位：千円)

区分 財源・款別		令和6年度 予 算 額	構成比
自主財源	市 税	4,105,412	16.8
	分担金及び負担金	135,840	0.6
	使用料及び手数料	177,382	0.7
	財 産 収 入	67,381	0.3
	寄 付 金	1,511,002	6.2
	繰 入 金	2,217,677	9.1
	繰 越 金	500,000	2.1
	諸 収 入	377,524	1.5
	小 計	9,092,218	37.3
依存財源	地 方 議 与 税	246,000	1.0
	利子割交付金	1,400	0.0
	配当割交付金	22,000	0.1
	株式譲渡所得割 交 付 金	36,000	0.2
	法人事業税交付金	54,000	0.2
	地方消費税交付金	726,000	3.0
	ゴルフ場利用税 交 付 金	124,000	0.5
	環境性能割交付金	33,000	0.1
	地方特例交付金	15,500	0.1
	地 方 交 付 税	5,816,500	23.8
	交通安全対策 特 別 交 付 金	6,000	0.0
	国 庫 支 出 金	2,873,976	11.8
	県 支 出 金	1,125,906	4.6
	市 債	4,235,500	17.3
	小 計	15,315,782	62.7
合 計		24,408,000	100.0

財政構造等（令和5年度決算）

財政力指数	0.44
経常収支比率	88.0%
実質公債費比率	6.4%
将来負担比率	46.0%

(歳出)

(単位：千円)

区分 款別	令和6年度 予 算 額	構成比
議 会 費	135,715	0.6
総 務 費	3,509,081	14.4
民 生 費	5,118,352	21.0
衛 生 費	2,526,608	10.3
労 働 費	15,262	0.1
農林水産業費	534,316	2.2
商 工 費	829,698	3.4
土 木 費	2,384,406	9.7
消 防 費	1,265,620	5.2
教 育 費	5,022,131	20.6
災 害 復 旧 費	34	0.0
公 債 費	1,972,500	8.1
諸 支 出 金	1,064,277	4.4
予 備 費	30,000	0.0
合 計	24,408,000	100.0

特別会計・企業会計予算

(単位：千円)

会 計 名	令和6年度 予 算 額
公共用地取得特別会計	827
国民健康保険特別会計	3,906,000
後期高齢者医療特別会計	600,000
介護保険特別会計	3,814,200
水道事業会計※	1,027,584
温泉事業会計※	124,199
下水道事業会計※	1,824,876
財産区特別会計（7財産区）	6,240

※実質予算額＝収益の支出－減価償却費＋資本の支

5. 令和6年度一般会計当初予算 重点事業

区分				新規	継続	拡充	事業名	予算額 (千円)	担当課
基本方針	重点目標	政策							
本格的な人口減少社会に向けた戦略的対応	人口減少抑制戦略	1 少子化対策と次代を担う人材の育成	結婚から子育てまで切れ目のない支援		●	●	【出会い・結婚】出会い・婚活支援事業	5,511	企画財政課
					●		【妊娠・出産】不妊・不育治療医療費助成事業	6,000	子育て支援課
					●	●	【妊娠・出産】妊産婦サポート事業	1,786	子育て支援課
					●		【妊娠・出産】出産準備金支給事業	10,500	子育て支援課
					●		【子育て】伊豆っ子未来応援金支給事業	17,700	子育て支援課
				●			【子育て】子育て短期支援・訪問支援事業	459	子育て支援課
				●			【子育て】熊坂こども園総合遊具整備事業	10,122	子育て支援課
				●			【子育て】森のようちえん事業	1,000	地域づくり課 子育て支援課 農林水産課
				●			【子育て】夜間小児医療確保補助金	5,000	健康長寿課
				●			【子育て】医療相談アプリ導入事業	792	子育て支援課
			教育の充実		●		伊豆中学校整備事業	2,854,159	学校教育課
					●	●	学びの探求向上事業	7,397	学校教育課
					●	●	GIGAスクール推進事業	37,042	学校教育課
						●	児童居場所整備事業	26,121	学校教育課
		2 安全で心地よい生活環境の創出	福祉・医療の充実			●	2025年デフリンピック開催準備事業	4,047	社会福祉課 観光商工課 社会教育課
					●		救急医療対策事業	34,108	健康長寿課
				●			へき地医療対策機器購入事業	6,050	健康長寿課
				●			夜間小児医療確保補助金（再掲）	5,000	健康長寿課
			まち安全・安心な生活環境の推進		●		（仮称）日向公園・危機管理センター整備事業	736,326	都市計画課 危機管理課
				●			空き家実態調査事業	10,000	都市計画課
				●	●		ゼロカーボン推進事業	11,346	環境衛生課 資産経営課
					●		リサイクルセンター整備事業	888,195	環境衛生課 建設課
		3 産業力の強化	地域産業の発展による市内経済活性化		●		東京2020レガシー創出事業	16,234	観光商工課
				●	●		伊豆市版DMO事業	5,296	観光商工課
					●		ふるさと観光地魅力化事業	35,000	観光商工課
				●			観光商品開発事業	5,600	観光商工課
			豊富な農林水産資源の再構築	●	●		Izu Wasavisitor Center活用事業	9,700	農林水産課
				●	●		森林環境譲与税活用事業	64,132	農林水産課
				●			農業振興地域整備計画策定事業	5,764	農林水産課
					●		水産業振興補助事業	1,000	農林水産課

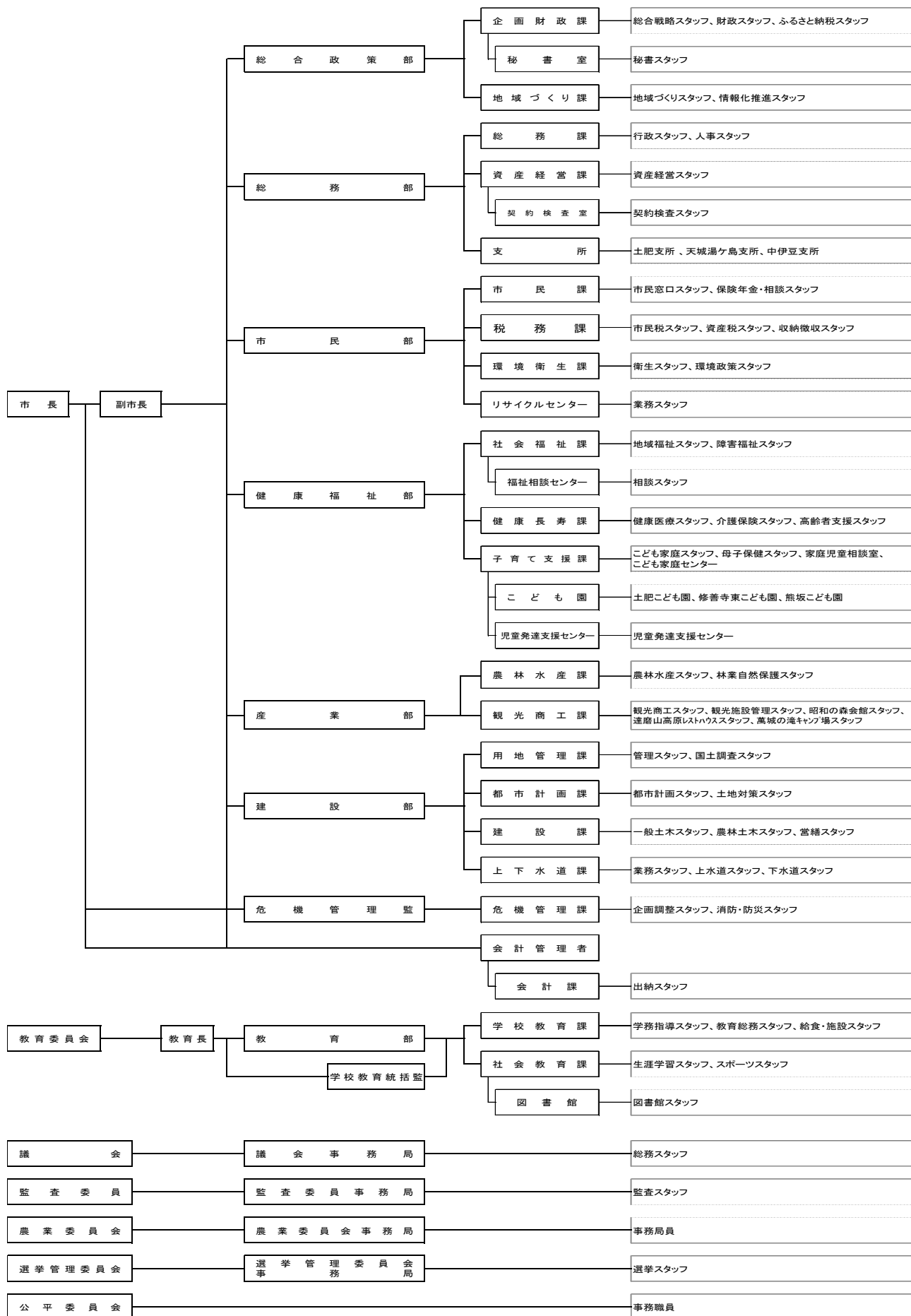
区分				新規	継続	拡充	事業名	予算額 (千円)	担当課
基本方針		重点目標	政策						
本格的な人口減少社会に向けた戦略的対応	人口減少抑制戦略	4 まちへの誇りの醸成とブランド力の向上	人の流れを呼び込む魅力的な暮らしの実現	●	●	●	移住定住促進事業	102,732	地域づくり課
				●			空き家実態調査事業（再掲）	10,000	都市計画課
					●		「IzuCamp.com（伊豆キャンどっと混む）Project」事業	10,945	地域づくり課
						●	地域おこし協力隊推進事業	112,332	地域づくり課 農林水産課 観光商工課
			●			市制20周年記念事業	22,991	企画財政課 税務課 健康長寿課 子育て支援課 観光商工課 学校教育課 社会教育課 図書館 議会事務局	
			●	●		学びの探求向上事業（再掲）	7,397	学校教育課	
				●		ふるさと学級事業	620	社会教育課	
		●		学校給食地元栽培米活用事業	1,979	学校教育課			
	人口減少適応戦略	5 魅力あふれる交通体系の確保	未来を切り拓くためのまちづくり		●		修善寺駅周辺まちづくり検討事業	8,800	都市計画課
				●			狩野川記念公園魅力化事業	55,000	都市計画課
				●			旧橘保育園跡地活用事業	40,000	企画財政課
					●		（仮称）日向公園・危機管理センター整備事業（再掲）	736,326	都市計画課 危機管理課
				●		バス路線維持事業	130,767	地域づくり課	
				●		交通利用助成事業	95,666	地域づくり課 社会福祉課 健康長寿課 学校教育課	
				●		交通ネットワーク検討事業	10,703	地域づくり課	
			●		高齢者運転対策補助事業	260	地域づくり課		
将来にわたる安定的な行財政運営の堅持	6 将来にわたる安定的な行財政の運営の堅持	安定した歳入の確保		●		収納対策強化事業	12,674	税務課	
			●	●		ふるさと納税促進事業	741,912	企画財政課	
			●	●		シティプロモーション事業	8,382	企画財政課	
		徹底した歳出の抑制	●	●		未利用公共施設整理事業	52,158	用地管理課 上下水道課 子育て支援課	
			●			中伊豆小学校移転検討事業	50,116	学校教育課	
			●			旧八岳小学校解体改修事業	89,100	資産経営課	
			●			中伊豆室内温水プール長寿命化改修事業	508,998	社会教育課	
			●			公共施設民間活用推進事業	19,800	観光商工課	
				●		包括的アウトソーシング事業	245,400	総務課 資産経営課	
			●	●		自治体DX推進事業	27,342	地域づくり課 議会事務局 社会教育課	

6. 行政機構

伊豆市役所組織

(令和6年度)

令和6年4月1日現在





20th
Anniversary

2024（令和6）年度は、伊豆市制20周年です。

伊豆市の若手職員がデザイン案を作成し、伊豆市の未来を担う市内の小中学生、高校生による投票にて、市制20周年エンブレムが完成しました。